

市政執行方針と予算

空港開港 100年

“千歳のさらなる百（飛躍）予算”

新年度
市政執行の
所信

千歳市長 横田隆一

本年は任期の最終年度を迎えますが、引き続き、市民の皆さまに、安全安心な暮らしと活気あふれるまちを実感していただけるよう、現場重視の姿勢で、責務を全うしてまいります。

国内においては、2月18日に第2次高市内閣が発足しました。政府には、市民生活に直結する物価高騰対策や、少子化対策など、現下の課題を踏まえた政策推進に期待しています。

また、昨年12月には、本市でも震度5弱を記録した地震が発生するなど、近年、激甚化・頻発化している自然災害や、北日本を中心とするクマによる人身被害により、防災対策、安全対策の必要性を改めて強く感じたところでもあります。

本市におきましては、千歳の発展を支えてきた空港が本年、「開港100年」を迎えるという、大きな節目の年となります。

先人たちの努力によって築かれたこの礎をもとに、新たな100年の飛躍に向けて、第7期総合計画に掲げる施策を着実に進め、次代を担う子どもたちに誇れるまちとなるよう、「市民が暮らしやすく、活力あふれるまち」の実現に向け、全力で取り組んでいく所存です。

また、昨年12月には、本市でも震度5弱を記録した地震が発生するなど、近年、激甚化・頻発化している自然災害や、北日本を中心とするクマによる人身被害により、防災対策、安全対策の必要性を改めて強く感じたところでもあります。

まちづくりにおける重要課題

01 空港開港100年に向けた取り組み

新千歳空港は、100年前の1926年（大正15年）、当時の村民が一本の着陸場を造成したことから始まりました。

この空港の歴史は、地域の人々の努力と情熱によって築かれ、今日の発展につながっております。

02 子育て支援と教育環境の充実

これらの事業が市民の記憶に深く刻まれ、次の100年に向けた新たなスタートとなるよう、皆さまとともに一丸となって取り組めます。

この空港の歴史は、地域の人々の努力と情熱によって築かれ、今日の発展につながっております。

また、昨年12月には、本市でも震度5弱を記録した地震が発生するなど、近年、激甚化・頻発化している自然災害や、北日本を中心とするクマによる人身被害により、防災対策、安全対策の必要性を改めて強く感じたところでもあります。

また、昨年12月には、本市でも震度5弱を記録した地震が発生するなど、近年、激甚化・頻発化している自然災害や、北日本を中心とするクマによる人身被害により、防災対策、安全対策の必要性を改めて強く感じたところでもあります。



安全安心、人を育むまちづくり

少子高齢化や労働人口の減少、デジタル社会への転換といった課題に直面する中で、地域の人材不足や多様化するライフスタイルなど、社会的な変化が急速に進行しています。これに対応し、未来に希望をもたらすためには、市民一人ひとりが安心して生活できる基盤を整えることが不可欠です。

多子世帯への経済的支援につながる取り組みとして、本年9月分からの保育料の第2子完全無償化を実施します。また、ちとせモール2階に「屋内型こどもの遊び場」と学習スペースなども備えた「図書館分館」を、令和9年度早期のオープンを目指し整備します。

本市では、70年以上の長きにわたり自衛隊との共存共栄のまちづくりを進めており、人口の維持や安定した市内経済活動の継続のためには、自衛隊の体制維持・強化が不可欠です。

市民生活や社会経済活動にとって最も身近な社会インフラである道路や橋梁、上下水道などの都市基盤については、修繕や更新、耐震化などを計画的に進めています。

03 次世代半導体関連産業の拠点化に向けた取り組み

ラピダス社は昨年、最先端半導体の開発・生産を行う「IIM-1」において、国内で初めて「2nm GAA（ゲートオールアラウンド）」トランジスタの試作に成功、動作を確認したと発表しました。

本市としては、これまでの順調な進捗に、「日の丸半導体」復活への期待を改めて強くしました。今後も令和9年度の量産開始に向けて、道路、上下水道などの各種インフラ整備をはじめとした必要な取り組みを迅速に進め、この国家プロジェクトに

04 自衛隊の体制強化

技術を活用した警戒体制の強化、関係機関とのヒグマ出没時の対応訓練、いわゆるガバメントハントの採用など、迅速に対処できる体制づくりを進めます。

物価高対策については、千歳商工会議所と連携し、市民生活の支援や地域経済の活性化を目的に実施する「ちとせ市民応援商品券2026」が、3月17日から利用可能となりました。

まちづくりの基本姿勢

快適で、活気あふれるまちづくり



本市は、開港100年を迎える新千歳空港と自衛隊の存在とともに発展し、北海道の空の玄関口として、また地域経済の中核として、その礎を築いてきました。

本市としては、これまでの順調な進捗に、「日の丸半導体」復活への期待を改めて強くしました。今後も令和9年度の量産開始に向けて、道路、上下水道などの各種インフラ整備をはじめとした必要な取り組みを迅速に進め、この国家プロジェクトに

本市では、70年以上の長きにわたり自衛隊との共存共栄のまちづくりを進めており、人口の維持や安定した市内経済活動の継続のためには、自衛隊の体制維持・強化が不可欠です。

物価高対策については、千歳商工会議所と連携し、市民生活の支援や地域経済の活性化を目的に実施する「ちとせ市民応援商品券2026」が、3月17日から利用可能となりました。

令和8年度の「まちの指針」と「予算の使いみち」について紹介します



5 地の利と資源を生かした産業のまち

主な事業費	予算額 (千円)
小中学校ICT機器等整備事業費	807,889
中学校冷房設備整備事業費	146,326
温水プール改修事業費	663,604



4 充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち

- 小中学校ICT機器／学習活動への積極的なICT(情報通信技術)の活用に向け、学習者用コンピュータの更新などの整備を行います。
- 中学校冷房設備／千歳中、青葉中、富丘中の普通教室と職員室にエアコンを設置します。これをもって、市内すべての中学校のエアコン整備が完了します。
- 温水プール改修／プール槽や内装、機械、電気設備機器類などが経年劣化しているため、令和8年度末から大規模改修工事を開始。令和9年度の1年間を休館します。

主な事業費	予算額 (千円)
千歳美々ワールド整備事業費	94,416
クマ防除経費	9,200
中小企業対策支援事業費	588,598



- 千歳美々ワールド／次世代半導体製造工場の事業活動に必要な道路などのインフラ整備を進めるとともに、上下水道、電力、ガスなどの関連インフラ整備の全体調整などを行います。
- クマ対策／センサーカメラなどのICT技術を活用し警戒体制を強化します。また、関係機関とヒグマ出没時の対応訓練を行うほか、銃猟免許を所持する有害鳥獣対策専門員、いわゆるガバメントハンターを新たに採用するなど、迅速に対処できる体制づくりを進めます。
- 中小企業対策／中小企業振興融資の利用が増加していることから、信用保証料にかかる補助金を増額します。



1 あたたかさをつながりを心で感じられるまち

- 自立支援給付／障がいのある人が自立した日常生活・社会生活を送れるように、障害者総合支援法に基づき、さまざまなサービスを利用するために必要な経費の一部を給付します。
- 子ども医療費／高校生世代までの子どもにかかる医療費を助成します。
- 生活保護／最低生活の保障と自立の助長を図ることを目的として、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行います。

主な事業費	予算額 (千円)
自立支援給付事業費	3,643,095
子ども医療費助成事業費	412,263
生活保護事業費	2,797,443



3 災害や危険から暮らしを守るまち

- 重要給水施設の耐震化／大規模地震災害時に、対策拠点や避難所となる施設の断水を防ぐため、敷地内の給水管を耐震化します。(令和8年度は信濃小学校)
- 救急情報システム／救急隊が現場で収集した傷病者の情報をリアルタイムで医療機関に送信・共有するシステムを導入。より迅速かつ正確な情報伝達を図ります。
- 消防出張所／女性厚生施設を整備し、女性消防職員の勤務環境の改善と職域拡大を図ります。

主な事業費	予算額 (千円)
重要給水施設耐震化事業費	32,274
救急情報システム整備事業費	12,755
向陽台出張所改修事業費	42,256
祝梅出張所改修事業費	28,996

主な事業費	予算額 (千円)
共同受信施設設置事業費	261,138
脱炭素化推進事業費	8,356
塵芥収集運搬業務経費	437,229

- 共同受信施設／千歳飛行場の航空機の離着陸により生じるテレビ電波の受信障害を解消するため、地上デジタル放送の障害区域内にある共同受信施設のケーブル・機器類の更新などを行います。
- ゼロカーボン／2050年カーボンニュートラルを実現するための取り組みとして、「ちとせゼロカーボンプロジェクト」による施策の検討、シンポジウムやワークショップの開催などの普及啓発活動を行います。
- ごみ収集／市内の各地区で、家庭ごみを収集します。



2 豊かな自然を育み快適で住みよいまち

6 暮らしやすく便利な都市基盤があるまち

主な事業費	予算額 (千円)
自動運転社会実装推進事業費	183,480
2026 ちとせ・空港開港100年記念事業費	109,183
市道整備事業費	700,193

- 自動運転バス／大型自動運転バスの社会実装に向けた実証実験を、冬期も含め3か月程度行うほか、レベル4認可取得に向けた検証を進めます。
- 空港開港100年記念／令和8年に空港開港100年を迎えるにあたり、記念誌などの作成を進めます。また、実行委員会の取り組みとして、記念式典や市民パレードの開催のほか、音楽イベントへの支援などを行います。
- 市道の整備／市が管理している幹線・補助幹線・郊外・生活道路のうち、ひび割れや凹凸が発生している路線を改良・修繕し、地域住民の利便性の向上や生活環境の改善を図ります。

多彩な市民とオール千歳で挑戦するまち

- シティーセールス／ふるさと納税の寄附額を70億円と見込み、必要経費を計上するほか、本市の認知度を向上させるため、旅行予約サイトに観光PRを主とする特集ページを作成し、まちの魅力を発信します。また、企業版ふるさと納税の寄附先として選ばれるよう、企業の寄附の使途と本市の魅力ある事業を、金融機関などを通してマッチングします。

- 大和地区コミセン／新たな地域コミュニティの拠点となる(仮称)大和地区コミュニティセンターの令和9年度中の供用開始に向けて、建設工事に着手します。
- 千歳市ポータルアプリ／証明書の発行申請や各種届出など、マイナンバーカードを活用した行政手続きのオンライン化を実現する「市公式アプリ」を導入します。

主な事業費	予算額 (千円)
ふるさと千歳応援事業費	3,739,773
(仮称)大和地区コミュニティセンター整備事業費	387,440
千歳市ポータルアプリ導入事業費	38,830

第7期総合計画

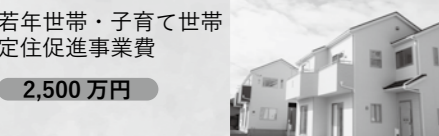
7

のまちづくりの基本目標と主要事業

令和8年度予算に計上した主要事業を、「第7期総合計画」に掲げた7つのまちづくりの基本目標に沿って紹介します



若年・子育て世帯の居住支援



若年世帯・子育て世帯
定住促進事業費
2,500万円

対象者	●39歳以下の夫婦 または ●小学生以下の子がいる世帯
要件	●新築の場合 50万円/戸 ●中古の場合 20万円/戸
件数	●2か年で100件 (1年目:50件、2年目:50件)

屋内型こどもの遊び場・図書館分館

長都駅前遊びと学びの
複合施設整備事業費 3.4億円



子どもたちが天候に関わらず楽しく遊べる場所や、本と触れ合う図書館分館、また、中高生や子育て世帯の居場所づくりなど

ちとせモール2階に
複合交流拠点施設として、
屋内型こどもの遊び場
図書館分館を整備します。

まちなか再構築プロジェクト

千歳市まちなか再構築
プロジェクト事務経費 310万円

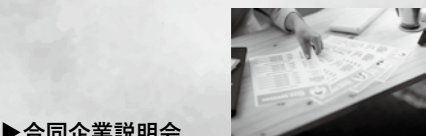


目指すまちなかの姿や
エリアコンセプトなどを明確に示した
「まちなかランドデザイン」
「まちなか開発誘導指針」
をつくります。

企業の人材確保

地元就職・人材確保
支援事業費 560万円

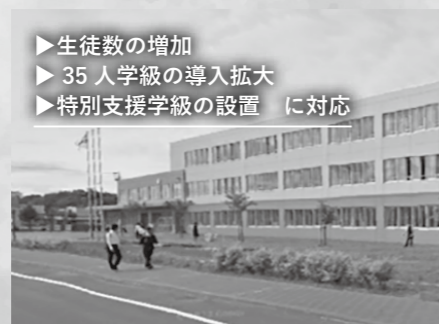
市内企業の人材の
確保・定着を支援します



- ▶合同企業説明会
- ▶高校生の地元就職・定着支援
- ▶専門家による伴走型支援
- ▶スポットワークに関するセミナー
- ▶外国人材の採用促進
企業向けセミナー／企業同士の座談会
外国人材活用相談窓口の開設

勇舞中学校校舎の増築

勇舞中学校校舎増築事業費 5.6億円



- ▶生徒数の増加
- ▶35人学級の導入拡大
- ▶特別支援学級の設置 に対応

6教室を有する
校舎を増築します。

保育料第2子無償化

特定教育・保育施設給付事業費 2,600万円
地域型保育施設給付事業費 650万円



年収約640万円以上の世帯の保育料の算定に関して、①保護者の所得制限、②多子計算にかかる「きょうだいの年齢制限」を撤廃。

世帯年収にかかわらず、
第2子以降の保育料を
無償化します。

介護・福祉分野における人材確保

介護人材確保・育成・定着
促進事業費 1,100万円

介護人材を確保するための
支援窓口を
設置します。

- ▶合同就職相談会
- ▶資格取得支援講座
- ▶合同入職式の開催
- ▶外国人労働者の居場所づくり
- ▶DX・ICT導入促進に向けた情報提供 など

資格取得にかかる
費用の一部を助成します。

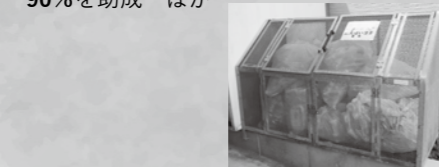
- ▶介護福祉士実務者研修費用
- ▶介護支援専門員の資格取得・更新などに要する研修費用の2/3を事業者へ助成(上限あり)

町内会の活性化

町内会育成事業費 2,060万円
町内会備品等整備事業費 1,000万円
資源回収事業費 990万円
自主防災組織育成事業費 140万円

支援金・奨励金の拡充、助成制度などの取り組みをまとめた
「町内会活性化ビジョン」
を展開します。

- ▶活動支援金を290円→500円/世帯に増額。新たに1町内会あたり3万円を支援
- ▶備品購入費や町内会館の改修費などの90%を助成 ほか



小学校給食費無償化

給食提供業務経費 3.4億円



給食費の保護者負担額を
無償化します。

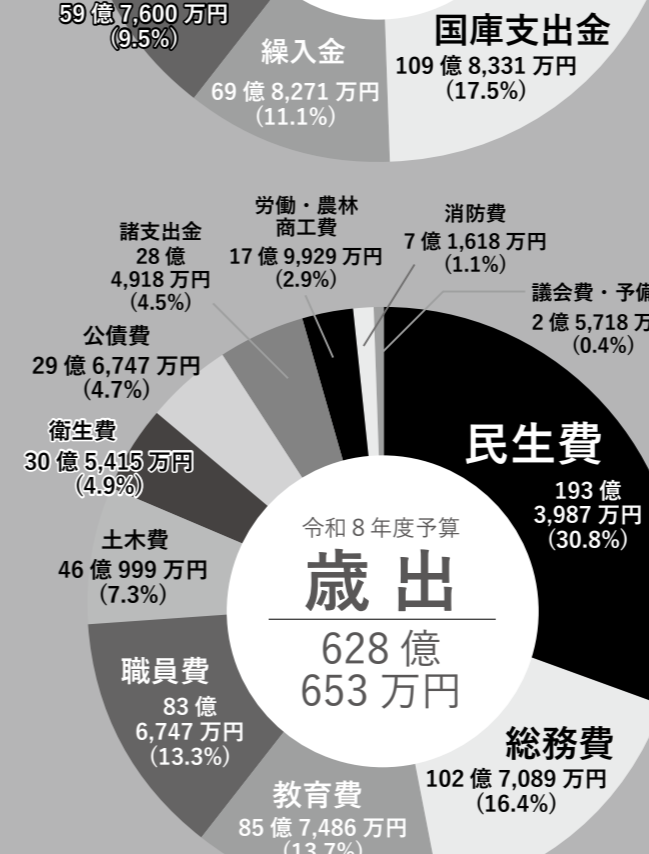
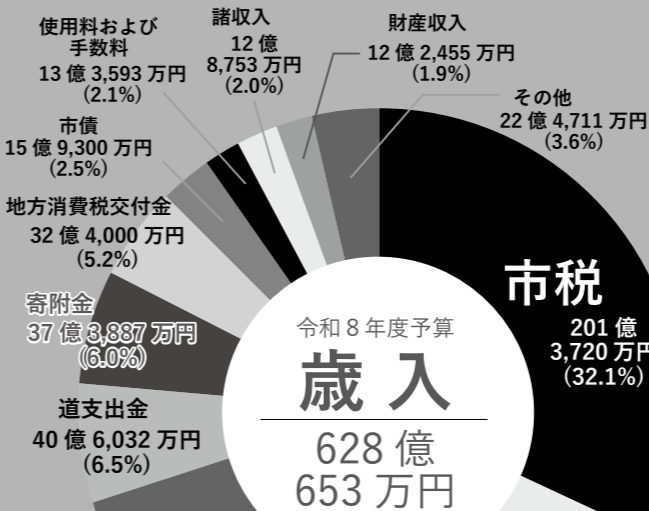
※国の小学校給食費無償化予算が成立した場合。
※国補助を超える賄材料費を市が補てん。

令和8年度予算 重点事業

定住未来戦略
パッケージとは?

住宅需要の高まり、生産年齢人口の減少、
社会インフラの老朽化…

これらの課題を踏まえ魅力あるまちづくりを進めるため、令和8年度当初予算において、未来を創る取り組みに資する新規・拡充事業を「定住未来戦略パッケージ」として整理しました。



予算の報告

一般会計 628億 653万円 (↑5.5%)
 特別会計 173億 3,435万円 (↓6.9%)
 公営企業会計 210億 3,554万円 (↓4.9%)

3 重点事業として
取りまとめました

※次世代半導体製造拠点の整備を
きっかけとした産業集積に伴うもの。

Ⅲ 定住未来戦略パッケージ
Ⅱ 2026ちとせ・空港開港100年記念事業
Ⅰ 喫緊の課題のうち、特に重点的に取り組む事業

令和8年度予算編成の「肝」
 ▼第7期総合計画と第2期財政標準化計画の着実な推進
 ▼今後想定されるまちの変化への対応(※)
 ▼さらに今年、空港開港100年という大きな節目の年

◎歳入予算の内訳

会計名	令和8年度	令和7年度	増減	増減率(%)
一般財源	34,567,197	34,364,016	203,181	0.6
特定財源	28,239,329	25,155,147	3,084,182	12.3
歳入合計	62,806,526	59,519,163	3,287,363	5.5

※一般財源は、市税など市が使いみちを自由に決められるお金です。
 ※特定財源は、国や北海道の支出金など、使いみちが決められているお金です。

◎各会計予算総括

会計名	令和8年度	令和7年度	増減	増減率(%)
一般会計	62,806,526	59,519,163	3,287,363	5.5
特別会計	17,334,346	18,626,616	▲1,292,270	▲6.9
国民健康保険	7,842,309	7,968,948	▲126,639	▲1.6
土地取得事業	716,148	1,572	714,576	45,456.5
公設地方卸売市場事業	73,767	70,846	2,921	4.1
霊園事業	30,898	26,177	4,721	18.0
介護保険	6,522,848	6,129,884	392,964	6.4
後期高齢者医療	1,746,155	1,492,612	253,543	17.0
土地区画整理事業	402,221	2,936,577	▲2,534,356	▲86.3
合計	80,140,872	78,145,779	1,995,093	2.6

会計名	令和8年度	令和7年度	増減	増減率(%)
公営企業会計	21,035,543	22,113,503	▲1,077,960	▲4.9
水道事業会計	5,271,480	3,953,474	1,318,006	33.3
下水道事業会計	6,560,413	9,066,159	▲2,505,746	▲27.6
病院事業会計	9,203,650	9,093,870	109,780	1.2
合計	21,035,543	22,113,503	▲1,077,960	▲4.9

総合計	令和8年度	令和7年度	増減	増減率(%)
総合計	101,176,415	100,259,282	917,133	0.9